

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2002年9月12日 (12.09.2002)

PCT

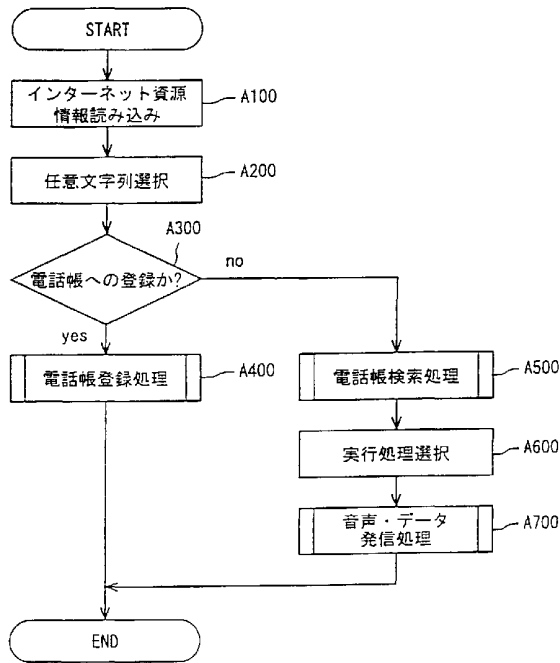
(10) 国際公開番号
WO 02/071730 A1

- (51) 国際特許分類: H04M 1/274, 1/247, 1/725, 11/00, 1/56, H04Q 7/38, G06F 13/00
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 松下電器産業株式会社 (MATSUSHITA ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.) [JP/JP]; 〒571-0050 大阪府 門真市 大字門真 1 0 0 6 番地 Osaka (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP02/01970
- (22) 国際出願日: 2002年3月4日 (04.03.2002)
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 山本 修 (YAMAMOTO, Osamu) [JP/JP]; 〒980-0004 宮城県 仙台市 青葉区宮町 4-2-1 1 Miyagi (JP). 横井 茂樹 (YOKOI, Shigeki) [JP/JP]; 〒221-0811 神奈川県 横浜市 神奈川区斎藤分町 4 4-1 0 Kanagawa (JP).
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ: 特願2001-63851 2001年3月7日 (07.03.2001) JP
- (74) 代理人: 小栗 昌平, 外(OGURI, Shohei et al.); 〒107-6028 東京都 港区 赤坂一丁目 1 2 番 3 2 号 アーク森ビル 2 8 階 栄光特許事務所 Tokyo (JP).

[続葉有]

(54) Title: PORTABLE RADIO TELEPHONE

(54) 発明の名称: 携帯無線電話装置



A100...READ INTERNET RESOURCE INFORMATION
 A200...SELECT CHARACTER STRING
 A300...REGISTRATION IN TELEPHONE DIRECTORY?
 A400...REGISTER DATA IN TELEPHONE DIRECTORY
 A500...SEARCH TELEPHONE DIRECTORY
 A600...SELECT PROCESSING
 A700...TRANSMIT SPEECH OR DATA

(57) Abstract: The user of a portable radio telephone can make an automatic search for the connection address of a communication party by selecting and designating a character string in information that the user is reading over the Internet with the portable telephone, realizing an improved operability. The portable radio telephone (A) is connected through radio channels to radio base stations connected by cable to an exchange and the user can read information over the Internet. A character string in the information that the user is reading is collated with registered character strings in telephone directory information stored in the portable radio telephone (A). If a selected character string is registered in the telephone directory information and if the communication party corresponding to the character string is detected to be registered in the telephone directory information, a control unit (5) carries out setting of conversation with the communication party.

[続葉有]



WO 02/071730 A1



(81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NO, NZ, OM, PH, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:
— 国際調査報告書

(84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(57) 要約:

本発明は、携帯無線電話装置でインターネット上の情報を閲覧しているとき、その中の任意文字列を指定選択することで通信相手先の接続アドレスを自動検索し操作性を向上させることを目的とする。

上記目的を達成するために、本発明は、交換局に有線接続される複数の無線基地局との間で無線チャンネルにより回線接続を行い、インターネット上の情報の閲覧を行う携帯無線電話装置Aにおいて、閲覧中の前記情報内に存在する任意文字列と自身に内蔵されている電話帳情報の登録文字列とを照合し、選択された任意文字列が電話帳情報に登録されており、この任意文字列に対応する通信相手先が電話帳情報内に登録されていることを検出したときこの通信相手先への通話設定を制御部5が行う。

明 細 書

携帯無線電話装置

<技術分野>

本発明は、インターネット上に設けられているホームページ等の情報にアクセスしたり電子メールを送受信したりすることができる携帯無線電話装置に係り、特に、受信情報中の任意文字列を指定して通信相手先に発呼することができる携帯無線電話装置に関する。

<背景技術>

インターネット上に設けられているホームページ等の情報にアクセスしたり電子メールを送受信したりすることができる携帯無線電話装置の普及が進んでいる。斯かる携帯無線電話装置には、例えば特開平10-155038号公報に記載されている様に、受信した電子メール内に記述されている電話番号や電子メールアドレスを検索し、この電話番号や電子メールアドレスに対して発呼したり、この電話番号や電子メールアドレスを電話帳メモリに登録したりする機能が設けられている。また、この従来技術には、電子メール中に記述されている「名前」を検索文字列として電話帳メモリの格納情報をサーチし、その名前に対応した電話番号を検出し、その電話番号に発呼する機能も設けられている。

上述した従来技術に係る携帯無線電話装置では、例えば、電子メールや情報の閲覧画面で、その情報中に何か気になる文字列、例えば、コンピュータに興味を持っている人が「パソコン」という文字列を見つけ、パソコンに詳しい友人に電話をかけてパソコンについて話を聞きたいと思った場合に、携帯無線電話装置内蔵の電話帳を開いてその友人の電話番号を探し、その電話番号をボタンキーで入力してから発呼操作を行わなければならない、操作が面倒であるという問題がある

。

本発明は上述した従来の問題点を解決するために為されたもので、受信した文字列情報中の任意の文字列を指定することで当該文字列に関係する相手先（電話、電子メールアドレス、情報アドレス）に対して発呼することが可能な携帯無線電話装置を提供することにある。

<発明の開示>

上記目的は、交換局に有線接続される複数の無線基地局との間で無線チャネルにより回線接続を行い、インターネット上の情報の閲覧を行う携帯無線電話装置において、閲覧中の前記情報内に存在する任意文字列と自身に内蔵されている電話帳情報の登録文字列とを照合する検索手段と、選択された任意文字列が前記電話帳情報に登録されておりこの任意文字列に対応する通信相手先が前記電話帳情報内に登録されていることを前記検索手段が検出したときこの通信相手先への通話設定を行う制御手段とを備えることで達成される。

好適には、上記において、前記電話帳情報内には任意文字列を登録する識別情報項目と、この識別情報項目への登録情報を前記検索手段による検索対象とするか否かを設定する手段とを備え、更に、選択された任意文字列が前記電話帳情報内に存在しない場合にはこの任意文字列を前記電話帳情報内に登録する手段を備える。

更に好適には、上記において、前記制御手段は、音声通話の接続処理、電子メールの接続処理、インターネット上の情報への接続処理のうち選択された接続処理の通話設定を行い、また、通信相手先への音声通話の接続処理、電子メールの接続処理、インターネット上の情報への接続処理の夫々の使用頻度をカウントする計数手段を備え、前記制御手段はこの計数手段の計数値が最も高い接続処理を

通話設定する。また、前記計数手段による計数処理を無効にする手段を備える。

更に好適には、表示されている情報中の前記任意文字列の前記選択は、入力部のボタンキーのキー操作で行われ、また、表示されている情報中の文字列のうち前記電話帳情報に登録されている文字列が他と区別化して表示され、前記選択は前記区別化されて表示された文字列の中から選択することで行われる。

上記目的はまた、交換局に有線接続される複数の無線基地局との間で無線チャネルにより回線接続を行い、アクセスしたインターネット上の情報を画面に表示する携帯無線電話装置において、前記画面に表示されている前記情報内の任意文字列が入力手段によって指定選択されたときこの任意文字列を発信先アドレスと関連付けて登録する電話帳情報蓄積手段を備えることで、達成される。

好適には、上記において、前記指定選択された任意文字列が電話番号であるか電子メールアドレスであるかインターネット上の情報のアドレスであるかを自動認識して前記電話帳情報蓄積手段の該当項目に自動設定する手段を備え、また、前記電話帳情報蓄積手段には、「氏名」「電話番号」「電子メールアドレス」「インターネット上の情報のアドレス」を夫々登録する項目の他に、任意文字列を分類分けして登録する項目が設けられる。

更に好適には、上記において、アクセスしたインターネット上の情報を閲覧しているときに、この情報内に存在する任意文字列が入力手段により指定選択され、この任意文字列が前記電話帳情報蓄積手段に登録されている場合には、この任意文字列に対応する発信先アドレスへの通話設定を行う制御手段を備える。

本発明の携帯無線電話装置は、受信した文字列情報（閲覧中のインターネット上の情報や、受信した電子メールの内容）の中の任意の文字列が指定され電話帳

登録処理が選択された場合に、この任意の文字列と、前記文字列情報に関連するアドレス情報（電話番号、電子メールアドレス、情報アドレス）とを関連付けて登録する。これにより、任意文字列を指定選択することで、通信相手先が自動検索されるため、相手先指定の電話番号入力などの操作を省くことが可能となる。

また、電話帳機能内に登録する任意文字列情報を識別項目で分類することが可能なため、この分類を利用して自動検索の有無を設定可能となり、使い勝手が向上する。更に、接続形態毎の使用頻度を計数しておくことで、使用者の使用形態に応じた接続形態を自動的に判断することができ、更に操作性が向上する。

<図面の簡単な説明>

図1は、本発明の一実施形態に係る携帯無線電話装置の構成図である。

図2は、図1に示す携帯無線電話装置の動作手順を示すフローチャートである。

図3は、図1に示す携帯無線電話装置の電話帳情報として登録されるデータ例を示す図である。

図4は、図1に示す携帯無線電話装置で発信動作を行うときの画面遷移を例示する図である。

図5は、図1に示す携帯無線電話装置で電話帳情報として登録するときの画面遷移を例示する図である。

図6は、図1に示す携帯無線電話装置で使用者の接続形態毎の使用頻度を計数する場合の説明図である。

図7は、使用者の接続形態毎の使用頻度が計数されている場合の発信動作の画面遷移を例示する図である。

なお、図中の符号、Aは携帯無線電話装置、1はマイクロホン、2はスピーカ、3は音声信号処理部、4は通信制御部、5は制御部、6は表示情報制御部、7

はディスプレイ、8は入力部、9は電話帳情報蓄積部である。

<発明を実施するための最良の形態>

以下、本発明の一実施形態について図面を参照しながら説明する。

図1は本発明の一実施形態に係る携帯無線電話装置の機能ブロック図である。この携帯無線電話装置Aは、音声入力を行うマイクロホン1と、音声出力を行うスピーカ2と、マイクロホン1及びスピーカ2の音声制御を行う機能を備えた音声信号処理部3と、音声信号や電子メールデータの通信を可能にすべくこれらの信号の変復調機能を備えた通信制御部4と、CPU等で構成された制御部5と、表示すべき情報の制御を行う表示制御部6と、液晶表示器等で構成された表示部(ディスプレイ)7と、数字の“0”~“9”キーやその他のボタンキーで構成された入力部8と、「氏名」、「電話番号」、「電子メールアドレス」や、「ホームページアドレス等インターネット上の情報を閲覧するためのアドレス」等を電話帳情報として記憶管理する電話帳情報蓄積部9とを備えて構成される。

入力部8は、携帯無線電話装置Aを操作するためのキー押下等を入力する機能と、電子メールの文章や電話帳情報蓄積部9に蓄積する登録情報を入力する機能と、これらをディスプレイ7に表示させる機能を有するほか、インターネット経由でアクセスし受信したホームページ等の情報の中から携帯無線電話装置の使用者が任意の文字列を指定選択する機能を有している。

携帯無線電話装置Aが受信したインターネット上の情報は、表示制御部6により、ディスプレイ7に表示される。表示されている情報の中から、入力部8により任意の文字列が指定され、制御部5がこの文字列を選択した場合には、制御部5は表示制御部6を制御し、この選択文字列を点滅表示や反転表示する等して他と差別化表示し、選択したことを使用者に報知する。

使用者が入力部8から電話帳検索指令を入力し、制御部5がこの電話帳検索指令を受け付けた場合、制御部5は、この選択文字列を検索文字列として電話帳情

報蓄積部 9 の蓄積内容をサーチし、照合結果の一致した情報を取り出し、表示制御部 6 にこの情報を渡してディスプレイ 7 に表示させる。

ディスプレイ 7 に表示された検索結果を見た使用者が、「電話番号」「電子メールアドレス」「インターネット上の情報を閲覧するためのアドレス」の中からいずれかを入力部 8 を用いて選択すると、制御部 5 は、使用者のこの選択を基に、次の該当する処理を行う。

「電話番号」が選択された場合には、音声信号処理部 3 と通信制御処理部 4 を制御して発呼動作を行い、マイクロホン 1 からの音声受付とスピーカ 2 からの音声出力の通話動作を行う。あるいは、音声通話ではなくショートメッセージ送信を使用者が選択した場合には、ショートメッセージ作成のための入力操作を受け付け、作成されたショートメッセージ文字列情報を表示し、通信制御部 4 を制御してこのショートメッセージを相手に送信する。

「電子メールアドレス」が選択された場合には、使用者からのメール作成のための入力操作を入力部 8 を介して受け付け、表示情報制御部 6 がこのメールをディスプレイ 7 に表示する。そして、通信制御部 4 は、この作成されたメールを送信する。

「インターネット上の情報を閲覧するためのアドレス」が選択された場合には、通信制御部 4 を制御することで回線接続を行い、その後、インターネット上の該当アドレスにある情報を取得し、この情報をディスプレイ 7 に表示させる。

使用者からの電話帳登録指令を入力部 8 が受け付けた場合、制御部 5 は、電話帳情報蓄積部 9 に対して、使用者が選択した文字列を電話帳情報蓄積部 9 に登録する。そして、登録した情報以外の情報に対する使用者からの情報入力を入力部 8 を制御して受け付けると共に、この情報を表示情報制御部 6 を制御してディスプレイ 7 に表示させる。

図2は、インターネット上の情報をディスプレイに表示してこの中から発信操作に使用する任意文字列を使用者が選択したときの処理動作手順を示すフローチャートである。ステップA100において、受信されたインターネット上の情報がディスプレイに表示され、次のステップA200において、使用者により情報中の文字列選択が行われる。このステップA200における選択動作では、従来と同様に、使用者は、情報中の「電話番号」「電子メールアドレス」「インターネット上の情報にアクセスするためのアドレス」の文字列選択ができる。

本実施形態では更に、使用者は、上記以外の任意文字列の選択が可能となっている。任意文字列とは、使用者により設定される「種別」に合致した文字列や使用者所望の文字列であり、例えば、情報中に使用者の仕事に関連する文字列や興味を持っている文字列、例えば「パソコン」や「メモリ」という文字列を選択することができる。ここで、「種別」とは、文字列を使用者が分類分けするときに用いる識別情報の一つである。

次のステップA300では、使用者の選択した処理が「電話帳情報への登録」か否かを判定する。この判定結果がyes即ち電話帳情報への登録処理であれば、ステップA400に進み、ステップA200で選択された文字列を電話帳情報の1レコードに対して設定し、設定された項目以外の情報の設定を使用者の入力に従い設定し、設定された全ての情報を電話帳情報に保存し、この図2の処理を終了する。

ステップA300の判定結果がno即ち電話帳情報への登録処理でない場合には、使用者は発信処理を選択したと判断できるため、ステップA500に進む。ステップA500では、ステップA300で選択された任意文字列を検索対象文字列として電話帳情報を検索し、ステップA600に進む。ステップA600では、ステップA500で検索されたデータを表示させ、実行したい処理、例えば、「電話番号への発呼」、「電子メールの作成および送信」、「ショートメッセ

ージの作成および送信」、「インターネット上の情報閲覧」等のいずれかを選択させ、次のステップA700に進む。ステップA700では、ステップA600で選択された処理に従い、送信データを作成し、音声通話やデータの発信処理を行い、この図2の処理を終了する。

尚、ステップA500における検索の結果、発呼対象とする相手方が電話帳情報に登録されていないことが分かった場合には、自動的にステップA400に進み、当該選択文字列と当該情報（閲覧中の情報）のインターネット上アドレスとを対応付けたデータを電話帳情報に新規登録するようにすることもできる。

図3は、電話帳に登録されているデータ例を示す図である。この図示の例では、松下太郎氏と、山田太一氏と、...、佐藤明夫氏のデータ（氏名、電話番号、電子メールアドレス、個人のホームページアドレス、メモ書き、種別：この例では、メモ書きとして所属会社名等や勤務先が登録されており、種別情報とし本人担当の商品名が登録されている。この実施形態では、このメモ書きと種別とを識別情報として用いている。）が携帯無線電話装置Aの電話帳情報蓄積部9に格納されている。

次に、インターネット上の情報をディスプレイに表示させている画面中の文字列を指定して相手先に発信する際の具体的操作手順について説明する。図4（a）は、ディスプレイに表示させているインターネット上の情報の一例である。この情報を閲覧している使用者が、その中の「パソコン」という文字列を選択指定すると、図4（b）に示すようにその文字列が反転表示や点滅表示され、選択状態を使用者に報知する。この文字列報知は、他の態様、例えば下線表示や音声読み上げ報知でもよい。

使用者が入力部8から所定操作を入力すると、図4（c）に示す画面に遷移す

る。この画面では、選択文字列による発信／発呼処理を行うか、それともこの選択文字列による電話帳登録処理を行うのかの選択を行う。この例では、発信／発呼処理を選択する。これにより、電話帳検索手段は電話帳情報蓄積部 9 に蓄積されている文字列の中から選択文字列「パソコン」の検索を行い、照合が一致したデータを表示する。この例では、照合が一致したデータが複数有るため、図 4 (d) の画面を表示して使用者に問い合わせ、データ一覧 (図 4 (e)) を画面に表示する。

文字列「パソコン」の照合の結果、一致するデータが電話帳情報内に無い場合には、電話帳情報への登録処理を自動的に行う。この例では、図 3 のデータ中の種別欄に「パソコン」を登録し、ホームページアドレスとして図 4 (a) のホームページのアドレスを登録する。これにより、「氏名」「電話番号」等が空欄となったデータが自動作成され、空欄については使用者が後から入力することになる。

図 4 (e) のデータ一覧画面では、図 3 に示される電話帳情報中に「パソコン」の文字列を持つデータの「氏名」が表示される。この画面で使用者が「松下太郎」を選択すると、図 4 (f) に示されるように、「松下太郎」のデータ一覧が画面に表示される。この画面で、「松下太郎」のメールアドレスに電子メールを発信したい場合には、電子メールアドレスを選択する。これにより、次に図 4 (g) のメール作成画面に遷移し、この画面でメール文章を作成し、送信することになる。

図 4 (f) の画面で、電話番号「06-444-5555」が選択された場合には、選択された電話番号への発呼が行われ、インターネット上の情報に接続するためのアドレス「http://www.matsu.com」が選択された場合には、インターネット経由で指定アドレスに接続され、当該アドレスに存在

する情報を取得してディスプレイに表示させる。

尚、選択文字列と電話帳情報との検索照合の結果、複数の情報が検索された場合に、初めに照合された情報のみを表示させてもよいし、上記の実施形態の様に照合結果が一致した全てのデータ中から使用者に所望する情報を選択させてもよい。

また、使用者からの情報による照合の実施有無を受け付け、その設定により、識別情報による照合の実施有無を決定してもよい。具体的には、図4（h）に示すように、電話帳情報中の項目毎に、選択文字列との照合を行うか否かを設定できるようにしておき、種別判定を「無し」に設定しておけば、この例での「パソコン」と照合するデータは存在しないことになる。

本実施形態によれば、従来は発信情報と無関係であった任意文字列と電話番号等の発信先情報とを関連付けて電話帳情報を作成し、この任意文字列も検索対象とするため、発信操作の操作手数を抑制することができる。また、任意文字列を識別情報の項目で分類し選択文字列との照合判定の有無を選択できる様にしたので、使用者が望むときにその任意文字列での検索が可能となり、不必要な検索やその検索結果の報知によって使用者が煩わされることもなくなる。

次に、本実施形態に係る携帯無線電話装置で電話帳登録を行う具体的操作の一例を説明する。図5（a）は、インターネット上で閲覧し携帯無線電話装置のディスプレイに表示されている情報を示す画面例である。携帯無線電話装置の使用者は、この画面上で、任意文字列を選択する。この例では、図5（b）に示す様に、「山田太一」という氏名を選択する。この選択により、当該選択文字列が反転表示等される。次に入力部8のボタン操作によって図5（c）の処理選択画面が表示され、ここで、使用者は、電話帳登録処理を選択する。

電話帳登録処理が選択されると、図5 (d) の電話帳情報登録画面が表示され、選択文字列「山田太一」が氏名の文字列であることを電話帳登録手段が自動認識して、該当項目位置にこの選択文字列を設定し格納する。選択文字列が電話番号文字列情報であれば、電話番号該当項目部に設定し、電子メールアドレスに該当する文字列であれば電子メールアドレス該当部に設定し、インターネット上の情報を閲覧するためのアドレス文字列の場合にはインターネット上の情報を閲覧のためのアドレス該当部に設定する。それ以外の文字列の場合には、氏名である蓋然性が高いため、氏名項目部に設定登録を行う。そして、この「氏名」に対応して、本実施形態では閲覧中のホームページのアドレス「WWW. y a m a d a . c o m」の自動登録を行う。

文字列の判定は、選択された文字列が、「数字文字」「+」「□」「-」等の電話番号入力時に使用される文字列で構成されていた場合には電話番号と判定でき、選択された文字列が、「任意文字列」「@」「.」の組み合わせで構成されている場合には、電子メールアドレスと判定でき、選択された文字列が、「h t t p」で始まる文字列であった場合にはインターネット上の情報を閲覧するためのアドレスと判定できるため、電話帳登録手段はこれらの判定結果に基づいて自動設定を行う。

設定された文字列は使用者により修正を行うことができる。例えば、「氏名」以外の任意文字列が選択され、これが「氏名」の項目に自動設定された場合には、使用者からの指示入力に従って、この任意文字列をMEMO項目または種別項目に移動させることができる。空欄については、使用者が手操作により入力することで図5 (e) に示すデータが完成する。

この様に、本実施形態に係る携帯無線電話装置は、選択文字列が如何なる情報に該当する文字列かを自動的に判断して、電話帳情報の該当項目に自動設定登録

するため、使用者の入力操作手数を減らすことが可能となる。

上述した実施形態の電話帳情報は、図3に示す様に、発信先アドレスとして、電話番号と、電子メールアドレスと、インターネット上の情報アドレスの3つが有る。そこで、図6に示すように、携帯無線電話装置に、各人宛の3つの発信先アドレスに対する使用頻度をカウントしておくことで、誰宛の発信はメールが多く、誰宛の発信は音声通話が多いという判断が可能となる。この発信処理頻度監視も、「有り」「無し」を使用者が設定できる構成とする。

このように、発信処理頻度監視を設定しておくことで、図7(a)に示す様にインターネット上の情報を閲覧してその中の「松下太郎」を使用者が選択し、次の画面(図7(b))で発信/発呼処理を使用者が選択すると、携帯無線電話装置が自動的に「松下太郎」宛の発信処理のうち最も高い頻度の発信処理が何であるかを識別する。そして、図6に示す例では電子メール発信回数が最も高いため、自動的に図7(b)から図7(c)の画面すなわち電子メール作成画面に移行する。

以上のように、この実施形態に係る携帯無線電話装置は、使用者が過去に実施した発信処理、例えばメール送信や音声発信動作等の発信処理毎にその頻度をカウントしておくことにより、使用者が発信動作を行おうとした際に、発信相手先により、最も多く使用している発信処理を使用者の選択操作無しで実行することができ、使用者の操作負担を軽減することが可能となる。

尚、この本実施形態では、電話帳情報蓄積部に蓄積されている各個人毎の電話帳データに対して発信処理頻度の監視の有無を選択する項目を設けているが、発信処理頻度の設定項目を、管理対象個人毎のデータに対して設定するのではなく、電話帳情報蓄積部の全体に対する設定項目として使用者に設定させるようにしてもよい。

上述した実施形態では、ディスプレイに表示されている電子メールや情報を使用者が見て、その中から選択する任意文字列を入力部のボタンキー等で指定することとしたが、ディスプレイに表示する情報を受信したときに携帯無線電話装置が自動的に電話帳情報の登録情報と照合し、登録情報と一致する文字列についてはディスプレイの表示画面上で反転表示等することで選択候補文字列とすることもでき、この場合には、使用者は単に選択候補文字列の中から選択文字列を指定するだけの操作で済むことになり、操作性が更に向上するになる。

本発明を詳細にまた特定の実施態様を参照して説明したが、本発明の精神と範囲を逸脱することなく様々な変更や修正を加えることができることは当業者にとって明らかである。

本出願は、2001年3月7日出願の日本特許出願No.2001-63851に基づくものであり、その内容はここに参照として取り込まれる。

<産業上の利用可能性>

本発明によれば、インターネット上の情報中の任意文字列を指定して電話帳情報を検索でき、更に検索結果に応じて通信相手先の接続アドレスが読み出されるので、接続アドレスの入力操作を省くことが可能となり、操作性が向上する。

請 求 の 範 囲

1. 交換局に有線接続される複数の無線基地局との間で無線チャネルにより回線接続を行い、インターネット上の情報の閲覧を行う携帯無線電話装置であって、閲覧中の前記情報内に存在する任意文字列と自身に内蔵されている電話帳情報の登録文字列とを照合する検索手段と、選択された任意文字列が前記電話帳情報に登録されておりこの任意文字列に対応する通信相手先が前記電話帳情報内に登録されていることを前記検索手段が検出したとき、この通信相手先への通話設定を行う制御手段とを備えることを特徴とする携帯無線電話装置。

2. 請求の範囲第1項において、前記電話帳情報内には任意文字列を登録する識別情報項目と、この識別情報項目への登録情報を前記検索手段による検索対象とするか否かを設定する手段とを備えることを特徴とする携帯無線電話装置。

3. 請求の範囲第1項または第2項において、選択された任意文字列が前記電話帳情報内に存在しない場合には、この任意文字列を前記電話帳情報内に登録する手段を備えることを特徴とする携帯無線電話装置。

4. 請求の範囲第1項乃至第3項のいずれかにおいて、前記制御手段は、音声通話の接続処理、電子メールの接続処理、インターネット上の情報への接続処理のうち選択された接続処理の通話設定を行うことを特徴とする携帯無線電話装置。

5. 請求の範囲第1項乃至第4項のいずれかにおいて、通信相手先への音声通話の接続処理、電子メールの接続処理、インターネット上の情報への接続処理の夫々の使用頻度をカウントする計数手段を備え、前記制御手段はこの計数手

段の計数値が最も高い接続処理を通話設定することを特徴とする携帯無線電話装置。

6. 請求の範囲第5項において、前記計数手段による計数処理を無効にする手段を備えることを特徴とする携帯無線電話装置。

7. 請求の範囲第1項乃至第6項のいずれかにおいて、表示されている情報中の前記任意文字列の前記選択は、入力部のボタンキーのキー操作で行われることを特徴とする携帯無線電話装置。

8. 請求の範囲第7項において、表示されている情報中の文字列のうち前記電話帳情報に登録されている文字列が他と区別化して表示され、前記選択は前記区別化されて表示された文字列の中から選択することで行われることを特徴とする携帯無線電話装置。

9. 交換局に有線接続される複数の無線基地局との間で無線チャネルにより回線接続を行い、アクセスしたインターネット上の情報を画面に表示する携帯無線電話装置であって、前記画面に表示されている前記情報内の任意文字列が入力手段によって指定選択されたとき、この任意文字列を発信先アドレスと関連付けて登録する電話帳情報蓄積手段を備えることを特徴とする携帯無線電話装置。

10. 請求の範囲第9項において、前記指定選択された任意文字列が電話番号であるか電子メールアドレスであるかインターネット上の情報のアドレスであるかを自動認識して前記電話帳情報蓄積手段の該当項目に自動設定する手段を備えることを特徴とする携帯無線電話装置。

11. 請求の範囲第9項または第10項において、前記電話帳情報蓄積手

段には、「氏名」「電話番号」「電子メールアドレス」「インターネット上の情報のアドレス」を夫々登録する項目の他に、任意文字列を分類分けして登録する項目が設けられていることを特徴とする携帯無線電話装置。

12. 請求の範囲第9項乃至第11項のいずれかにおいて、アクセスしたインターネット上の情報を閲覧しているときに、この情報内に存在する任意文字列が入力手段により指定選択され、この任意文字列が前記電話帳情報蓄積手段に登録されている場合には、この任意文字列に対応する発信先アドレスへの通話設定を行う制御手段を備えることを特徴とする携帯無線電話装置。

図 1

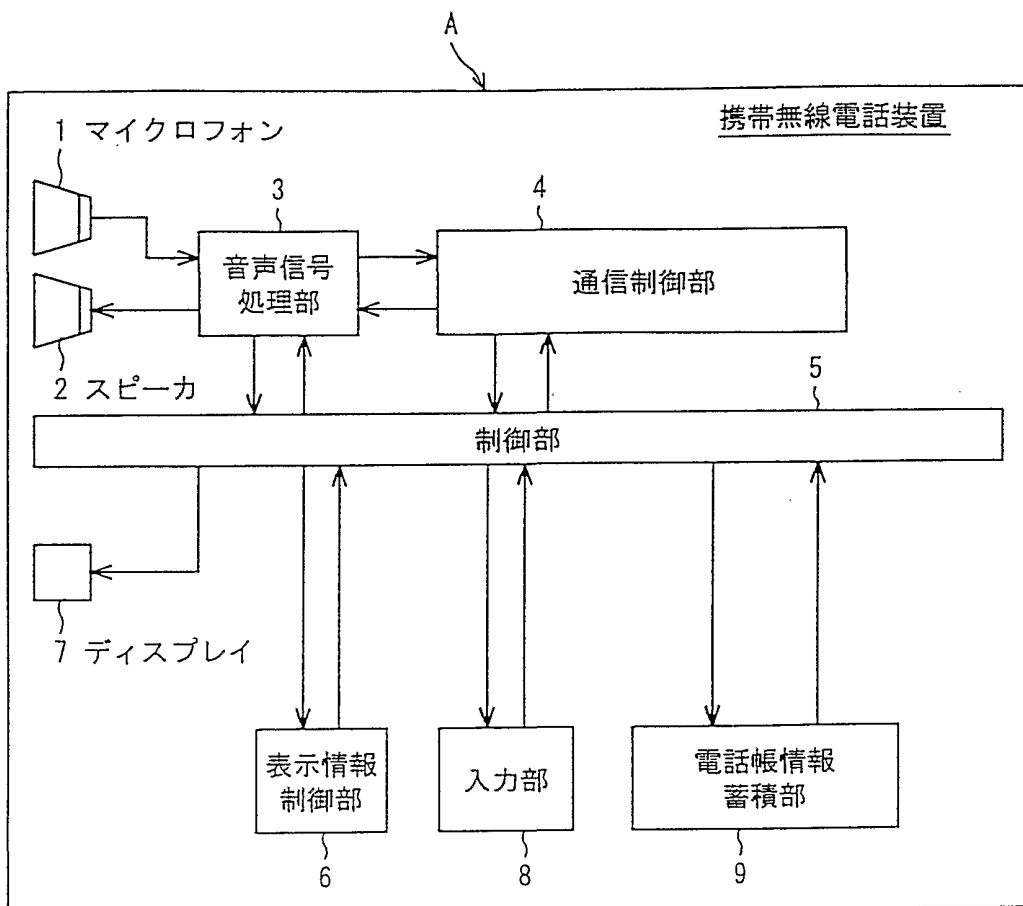


図 2

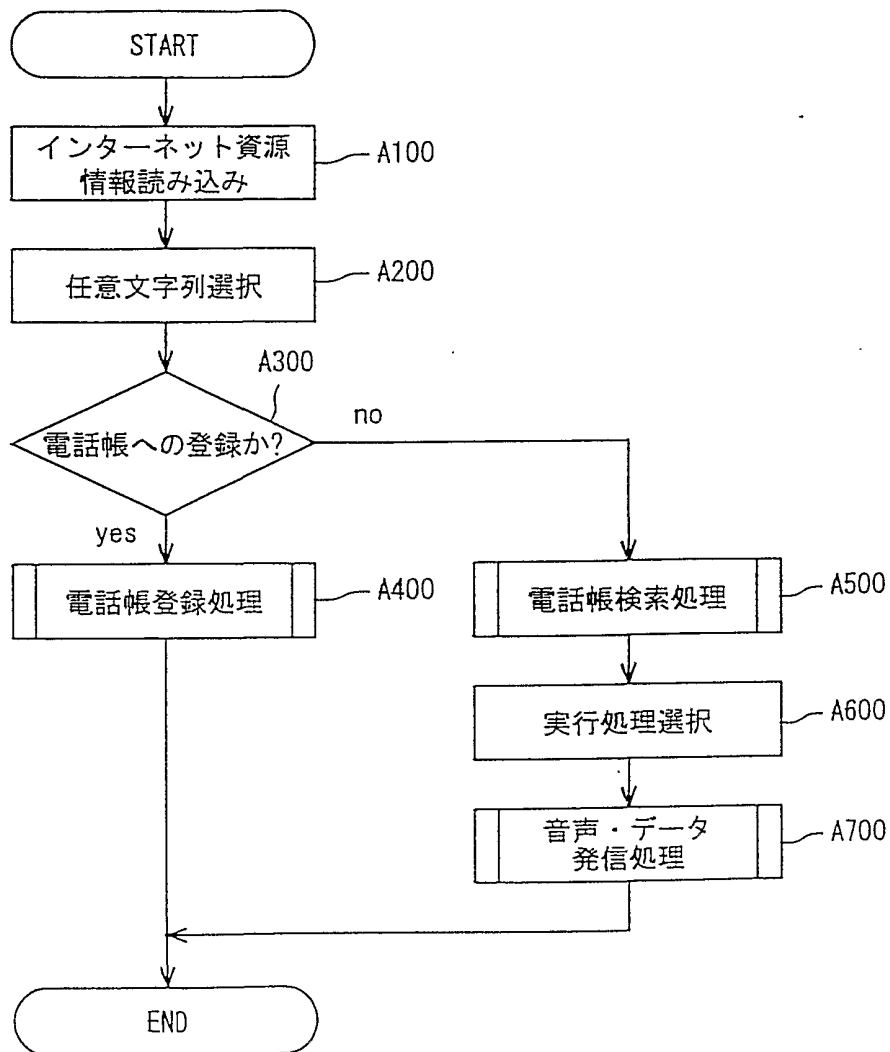


図 3

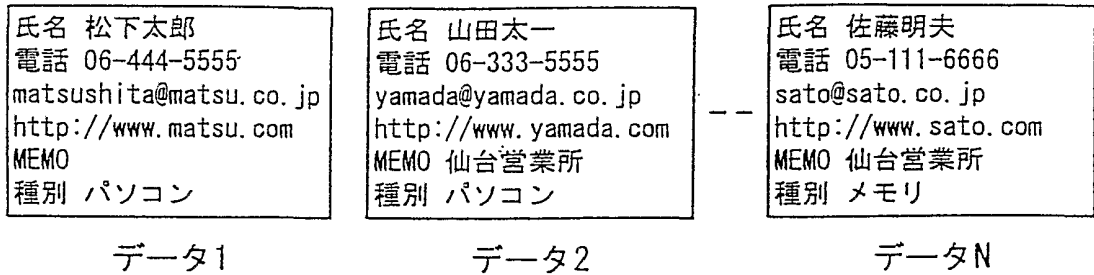


図 4

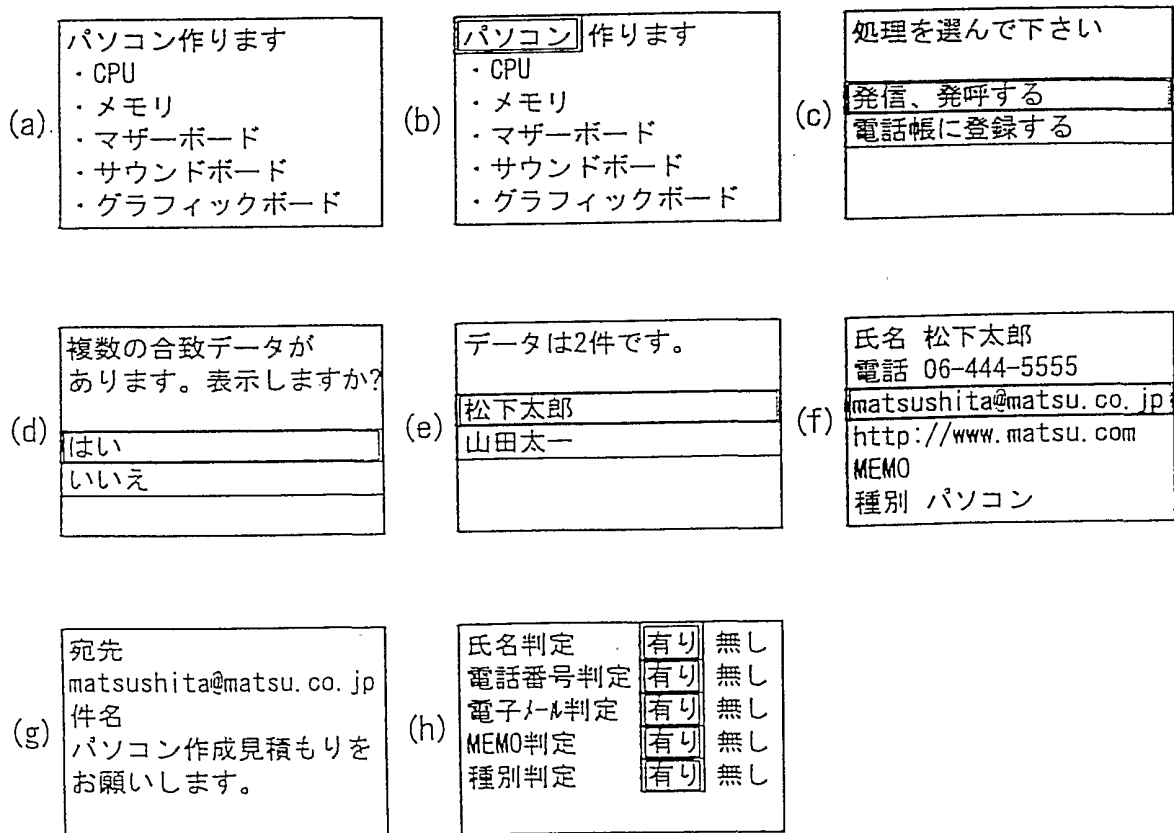


図5

(a)

パソコン作ります ・CPU ・メモリ ・マザーボード ・サウンドボード 山田太一 に連絡下さい。

(b)

パソコン作ります ・CPU ・メモリ ・マザーボード ・サウンドボード <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%;"><tr><td style="padding: 2px;">山田太一</td></tr></table> に連絡下さい。	山田太一
山田太一	

(c)

処理を選んで下さい	
発信、発呼する	
<table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%;"><tr><td style="padding: 2px;">電話帳に登録する</td></tr></table>	電話帳に登録する
電話帳に登録する	

(d)

氏名 山田太一 電話 http://www.yamada.com MEMO 種別
--

(e)

氏名 山田太一 電話 06-333-5555 yamada@yamada.co.jp http://www.yamada.com MEMO 仙台営業所 種別 パソコン

図 6

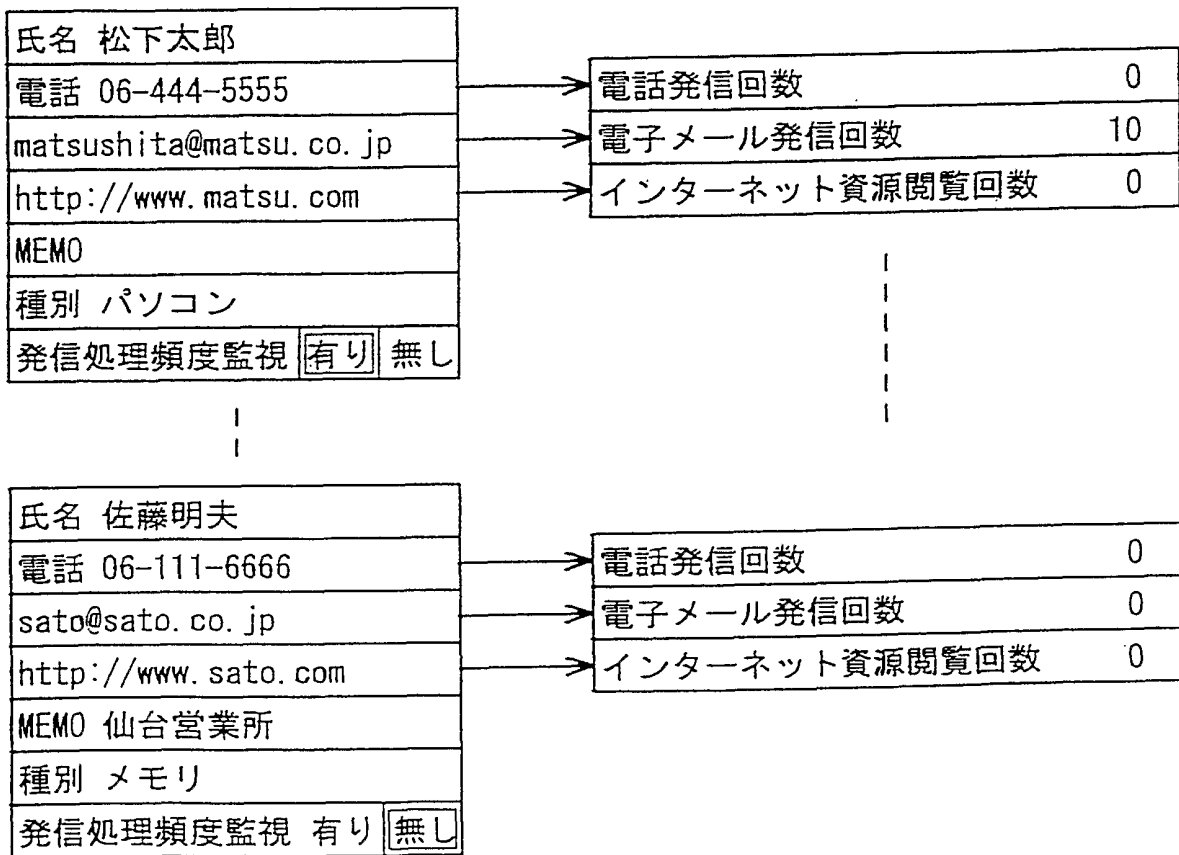


図 7

(a)

パソコン作ります ・CPU ・メモリ ・マザーボード ・サウンドボード
<u>松下太郎</u> に連絡下さい。

(b)

処理を選んで下さい
発信、発呼する
<u>電話帳に登録する</u>

(c)

宛先 matsushita@matsu.co.jp 件名 パソコン作成見積もりを お願いします。
--

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP02/01970

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ H04M1/274, H04M1/247, H04M1/725, H04M11/00, H04M1/56,
H04Q7/38, G06F13/00

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ H04M1/00, H04M1/24-1/62, H04M1/66-1/82, H04M11/00-11/10,
H04Q7/38, G06F13/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2002
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2002	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2002

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
P, Y	JP 2001-268206 A (Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.), 28 September, 2001 (28.09.01), Full text; all drawings (Family: none)	1-12
A	JP 10-155038 A (Casio Computer Co., Ltd.), 09 June, 1998 (09.06.98), Full text; all drawings (Family: none)	1-12
A	JP 11-331426 A (Kabushiki Kaisha Paradise Web.), 30 November, 1999 (30.11.99), Full text; all drawings (Family: none)	1-12

Further documents are listed in the continuation of Box C. See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier document but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
25 April, 2002 (25.04.02)

Date of mailing of the international search report
14 May, 2002 (14.05.02)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP02/01970

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
P,A	JP 2001-339501 A (Fuji Photo Film Co., Ltd.), 07 December, 2001 (07.12.01), Full text; all drawings (Family: none)	1-12

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ H04M1/274, H04M1/247, H04M1/725, H04M11/00,
H04M1/56, H04Q7/38, G06F13/00

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ H04M1/00, H04M1/24-1/62, H04M1/66-1/82,
H04M11/00-11/10, H04Q7/38, G06F13/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1922-1996年
日本国公開実用新案公報 1971-2002年
日本国登録実用新案公報 1994-2002年
日本国実用新案登録公報 1996-2002年

国際調査で使用了電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
PY	JP 2001-268206 A (松下電器産業株式会社) 2001.09.28 全文, 全図 (ファミリーなし)	1-12
A	JP 10-155038 A (カシオ計算機株式会社) 1998.06.09 全文, 全図 (ファミリーなし)	1-12
A	JP 11-331426 A (株式会社パラダイスウェブ) 1999.11.30 全文, 全図 (ファミリーなし)	1-12

C欄の続きにも文献が列挙されている。

パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献
「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

25.04.02

国際調査報告の発送日

14.05.02

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)
郵便番号100-8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

梶尾 誠哉



5G

9370

電話番号 03-3581-1101 内線 3525

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
PA	JP 2001-339501 A (富士写真フィルム株式会社) 2001.12.07 全文, 全図 (ファミリーなし)	1-12